

健康メモ

スポーツの名前の付いた病気

広島市医師会理事
福原整形外科・内科医院院長

福原 千史

私たち人間の

かかる病気には
数限りないもの
があります。そ
のなかには、既



に原因や病態がハッキリしたものであれば、未だに原因がハッキリしていないものもあります。病名の付け方も様々であり、原因を病名にしたリ、病態を病名にしたリ、また原因がハッキリしないものには、「特発性」といった言葉を付けたりもします。変わったものとして、整形外科の病気に、スポーツの名前の付いた病

気がいくつかあります。

よく知られたものにテニス肘という病気があります。テニスプレーヤーに多発するということでこの名前が付いたと言われています。しかし最近では、テニスプレーヤーよりも手首や腕をよく使う人に起こることが多いようです。正確には、上腕骨外上顆炎といい、どの年齢でも起こってきますが、中年の女性に多く、肘の外側から前腕にかけて痛くなります。片手で物を持ち上げたり、タオルを絞ったりが困難となります。

野球肘、ゴルフ肘は、同じ病態で起こってくる肘内側の障害で、正確には上腕骨内上顆炎といい、テニス肘とは反対の側に起こってきます。好発年齢が若年と中年の二層に分かれており、若年者は野球によって起こってくる場合が多く、中年者はゴルフによって起こってくる場合が多いようです。いずれも肘を外側に反

らせることで、肘の内側に張っている靭帯が緊張し、骨の不全断裂や靭帯の微小断裂が生じるのが原因です。ジャンパー膝は、バレーボールやバスケットボールなどで飛び上がる動作を繰り返す選手に多く、膝蓋骨の下端の膝蓋靭帯の附着部や、上端の大腿四頭筋の附着部に痛みを生じてくる病気です。

その他にも日常よく起こる怪我、骨折にスポーツの名前が付いたものが幾つかありますが、いずれもそのスポーツの特徴的な動作によって生じてきます。

病気を理解するにはそのメカニズムを知ることが一番です。スポーツの名前の付いた病気を
知るには、そのスポーツをすることが一番。整形外科医は皆スポーツマンであれ！



広島市医師会
www.chy.hiroimmed.or.jp

訂正

5月24日号18頁「健康メモ」の下端9行目にウナギとあるのはウサギに訂正します。